

科目名 (科目番号)	免疫検査学実習 (時間割参照)	教員名 柴山 修司	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
	曜日・時限等		時間割表参照	単位数	1		
	授業形態		実験・実習	オフィスアワー	水1 B208研究室		
授業概要	代表的な抗原抗体反応の例を実際に体験することを通して、さまざまな免疫学的検査法の基本原理と臨床的意義を理解する。						
目的・目標	目的:実際に作業することによって代表的な免疫学的検査法の原理と臨床的意義を理解する。 目標:①:代表的な免疫学的検査法の原理を理解し、基本的な例については解析結果の解析と評価ができるようにする。 ②:期待どおりの結果が得られなかった場合の原因と対策について、理論的に考察することができる。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	二重免疫拡散法	到達目標:二重免疫拡散法の原理と臨床応用を理解する。 学習内容:二重免疫拡散法による血清中のIgG, IgA, IgMの検出				
	2	梅毒の検査（カルジオリピンを用いた方法）	到達目標:梅毒血清検査(カルジオリピンを用いた方法)の原理と臨床応用を理解する。 学習内容:RPRカードテスト				
	3	梅毒の検査（TP抗原を用いた方法）	到達目標:梅毒血清検査(TP抗原を用いた方法)の原理と臨床応用を理解する。 学習内容:TPPA法				
	4	間接蛍光抗体法による抗核抗体検査	到達目標:間接蛍光抗体法による抗核抗体検査の原理と臨床的意義を理解する。 学習内容:間接蛍光抗体法による抗核抗体の検出				
	5	免疫電気泳動	到達目標:基本的な免疫電気泳動の結果を判定できる。 学習内容:免疫電気泳動法によるM蛋白の検出				
	6	フローサイトメトリー	到達目標:フローサイトメトリーの原理を理解し、基本的な結果を説明できる。 学習内容:フローサイトメトリーによるリンパ球サブセットの定量				
	7	ELISA	到達目標:ELISA法の原理と臨床応用について説明できる。 学習内容:ELISA法による抗DNA抗体の測定				
	8	まとめ	到達目標:授業で扱った免疫学的検査法について、関連事項を含めて理解を深める。 学習内容:提出された課題のレポートを参照しながら、大事な点を共有する。				
成績評価の方法・基準	レポート(100%)						
教科書	医学講座 免疫検査学/輸血・移植検査学 第4版 編集 窪田哲朗, 他			医歯薬出版			
参考図書	JAMT技術教本シリーズ 臨床免疫検査技術教本		監修 日本臨床衛生検査技師会			丸善出版	
教員からのメッセージ	事前に実習内容を予習すること。 レポートは各実習終了から1週間以内に提出すること。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						